

平成24年度
平成23年度実施

事務事業評価調書

整理番号	1 - 3
作成年月日	H24. 7. 25
事業区分	☒ 継続 ☐ 新規

事務事業名 名寄線代替バス確保対策事業

事業開始年度	平成20年度	住民参加	☐ 有	関係例規・法令名	
事業終了年度	平成24年度	住民協働	☒ 無	関係個別計画名	

会計区分	一般会計	款	2. 総務費	項	1. 総務管理費	目	8. 地域交通対策費
------	------	---	--------	---	----------	---	------------

担当課	企画財政課	担当係名	地域振興係	調書作成者職氏名	課長 広木真司
-----	-------	------	-------	----------	---------

【第五期興部町総合計画】	☒ 登載事業	☐ 非登載事業	実施計画登載No	5
--------------	--	--------------------------------	----------	---

分類	コード	名称
基本目標	1	安心して暮らせる“まちづくり”
施策項目	1	道路・交通網の整備
単位施策	4	公共交通の維持・確保

I. 事業計画

(1) 【事業の相手】	※ 何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのか具体的に記載して下さい。 地域住民（路線バス利用者）。 名士バス・北紋バス。
(2) 【事業の概要】	※ 目指すべき姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載して下さい。 名寄線の代替バス確保対策の一環として、代替バス運営協議会（沿線8市町村で構成）への負担金の拠出と、沿線バス待合所（13ヶ所）の清掃維持管理等を行なう。 協議会負担割合～19.8243%
(3) 【事業の成果】	※ 事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載して下さい。 地域住民（利用者）の足として、路線バス（代替バス）の確保。 バス待合所を整備し、利用者への利便性の確保。

II. 指標【成果を判断する目標数値】

No	種別	内 容	区 分	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
1	対象指標	運行回数（北紋バス）	目標値 実績値	回	7 7	7 7	7 7	7 7	7 7
2	成果指標	運行回数（名士バス）	目標値 実績値	回	7 7	7 7	7 7	7 7	7 7
3	成果指標		目標値 実績値	千円					
4			目標値 実績値						

III. 事業費の推移

(単位：千円)

区 分	19年度 決 算	20年度 決 算	21年度 決 算	22年度 決 算	23年度 決 算	24年度 予 算	20～24年度 合 計
事業費(千円)	5,751	6,152	6,109	7,488	7,515	8,378	35,642
財源内訳							
国庫支出金							0
道支出金							0
地方債							0
その他	5,751		6,109	7,488	7,515	8,378	29,490
一般財源		6,152					6,152

IV. 担当課による事務事業の評価

区 分	チェック項目の説明（内容）等
1. 実施の妥当性 (1) 町の政策的な事業である。 ☐ (2) 公共性が高い事業である。 ☒ (3) 緊急性が高い事業である。 ☐ (4) 法令等により実施が義務付けられている。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☐	公共交通を確保する事により、地域住民の足を守り、利便性が確保された。
2. 経済性・効率性 (1) 費用に見合う効果がある。 ☒ (2) コスト削減の余地がある。 ☐ (3) 受益者負担の余地がある。 ☐ (4) 補助制度等活用の可能性がある。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☐	利用者の減少等により、バス会社への補助（協議会負担金）は増加傾向にあるが、運行体制の見直し等を随時行なっている。 国・道の補助金を受けているが、利用率の低下等により、補助対象外となる可能性がある。
3. 必要性 (1) 町民のニーズがある。（高い） ☐ (2) 事業を継続する必要がある。 ☒ (3) 類似事業との統合・再編の可能性がある。 ☐ (4) その他 【具体的に記載】 ☐	唯一の公共交通手段として、路線バス（代替バス）は、必要である。 利用者が快適に乗り降りができるよう、待合所は必要である。
4. 代替性 (1) 行政主体による実施が適当である。 ☐ (2) 民間委託等による実施が可能である。 ☐ (3) 住民協働（主体）による実施が可能である。 ☐ (4) その他 【具体的に記載】 ☒	長大路線であり、協議会とバス会社（名士・北紋）で協議・調整の上で運行しており、他の路線バス事業者等の参入は困難である。
5. 事業の達成度 (1) 期待どおりの成果があがっている。 ☐ (2) 概ね期待どおりの成果があがっている。 ☒ (3) 成果が不十分である。 ☐ (4) 事業の見直し等が必要である。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☐	特急列車等の時間変更があった場合に、接続時間を考え運行時間の見直しをしてきている。

特記事項

名寄線～平成元年4月廃止、代替バス運行開始。平成20年度より年1回無料バスを運行し、バス利用についてのPRを行っている。

V. 一次評価（所管課）、二次評価（庁内評価委員会）

区 分	評 価	評価選択理由／今後の方向性
一次評価	継続【現状維持】	地域住民の足を守るための公共交通として、路線バス運行は必要である。 バス利用を快適にするために、待合所は必要である。
二次評価		二次評価対象外

VI. 外部意見（興部町総合計画策定審議会）

--	--

VII. 総合評価（町長、副町長、教育長）

最 終 評 価	評価選択理由／今後の方向性

☆ 評価

- (1) 継続【現状維持】⇒ 事業内容、事業量に大きな変動がなく、予算増減が少ないもの
 (2) 継続【拡 充】⇒ 事業内容、事業量に相当程度の変動があり、予算増を伴うもの
 (3) 継続【縮 小】⇒ 事業内容、事業量に相当程度の変動があり、予算減を伴うもの
 (4) 継続【統 合】⇒ 事業内容の類似する事業に統合し、この事業を廃止するもの

- (5) 終 了 ⇒ 単年度事業、期間満了による事業の終了
 (6) 休 止 ⇒ 隔年度での事業実施などによる事業の休止
 (7) 廃 止 ⇒ この事業を廃止するもの